統合医療安全管理室

これから、当院における感染対策についてご説明します。

はじめに

病院に来院・入院する方は、病気や治療に伴い、免疫力が低下していることがあります。そのため、様々な感染症にかかりやすくなる恐れがあります。



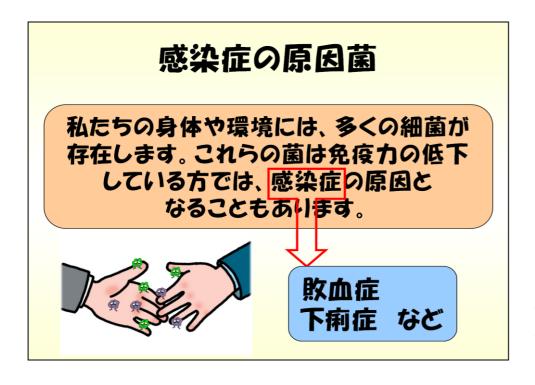




まずはじめに、感染症の中には、季節に よってインフルエンザやノロウィルスなど、 地域で流行しているものがあります。

また、病院に診察・検査のため受診される 方や入院される方は、病気のため、あるいは 治療に必要なお薬や手術のために病原体に対 する体の抵抗力が弱くなることがあります。

そのため、手術部位の感染症、肺炎、点滴の管が入っていることによる感染症、尿からの感染症など様々な感染症にかかりやすくなることがあります。



私たちの鼻、皮膚やお腹の中には、黄色ブドウ球菌や大腸菌、クロストリジウム・ディフィシルという細菌など、たくさんの菌が存在します。

そして環境中にもたくさんの菌が存在します。

これらの菌は通常、感染症の原因とはならないものの、免疫力の低下している方では、 細菌による全身の炎症反応である敗血症や下 痢症などの原因となることもあります。

薬剤耐性菌とは(1)

細菌には従来、薬が効きにくくなる 仕組みがあります。複数の種類の抗菌薬が 効かなくなった菌を薬剤耐性菌といいます。



細菌には従来、抗生物質が使用されるなかで、薬が効きにくくなる仕組みがあります。

複数の種類の抗菌薬が効かなくなった菌の ことを薬剤耐性菌といい、特に伝播・治療の 面で問題となってきます。

薬剤耐性菌とは(2)

薬剤耐性菌には様々な種類があります。

ヒトの皮膚や腸にも存在しうる 菌のため、通常は感染症の 原因菌とはなりません。 薬剤耐性菌には様々な種類があります。

こういった菌は、ヒトの皮膚や腸にも存在 することができる菌で、通常は感染症の原因 菌とはなりません。

免疫力の低下によりこれらの菌が原因の感染症を起こした場合は、効果的な抗菌薬が少なく、重症の感染症になることがあるため、注意が必要となります。

当院では感染対策チーム (ICT:Infection Control Team)が 活動しています

外部専門家・専従者の配置

多職種による院内ラウンド

院内研修の実施

院内微生物検査室での 迅速な検査の実施





当院では感染対策チーム、ICTと呼ばれる組織があります。

感染管理の資格をもつ外部専門家を含めた、 各職種からなる感染対策チームおよび専従者 を含む感染対策部門が日々活動しており、手 指衛生を始めとする適切な感染対策および感 染症に対する治療の実施を推進しております。

活動の一部をご紹介しますと、週1回医師や 看護師、検査技師、薬剤師などが集まり、院 内をラウンドしたり、全職員対象に研修を実 施したりしています。

当院は、院内に微生物検査室を有しており、 院内で多剤耐性菌を含め感染症が発生した場合でも迅速かつ適切に対応できるように努め ています。

入院・面会の方へお願い

守っていただきたいこと

- ○手指衛生 (流水と液体石けんによる手洗いやアルコール手指 消毒薬の使用)
- ○咳エチケット

ご遠慮していただきたいこと

- ●多人数での面会および体調不良の方の面会、 小さいお子様の面会
- ●生もの(刺身など)の差し入れ
- ●鉢植えなどの植物の持ち込み

入院、面会の方におかれましては、以下の ことをお願いいたします。

病室へ出入りする際やトイレの後などに流水と液体石けんによる手洗いやアルコール手 指消毒薬の使用による手指衛生を行ってくだ さい。

また、咳などの症状がある方は、マスクを 使用するなど咳エチケットを行うようお願い します。

面会の方におかれましては、大勢での面会 および体調不良の方の面会、小さいお子様の 面会はお控えください。

また、お刺身など生ものの差し入れや鉢植えなど、植物の持込をお控えいただくことをお願いいたします。

感染対策へのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

手指衛生の方法 【流水と液体石けん】





目に見える汚れのある時、お食事前、 トイレの後は流水と石けんを用いて 手洗いしましょう! 手指衛生の方法について、ご説明します。

まず、流水と液体石けんについてです。

手洗いのタイミングですが、手に目に見える汚れのある時、お食事前、トイレの後などは流水と液体石けんを用いて手洗いをしてください。



この図は洗い残しの頻度の高い部位を示したものです。

特に赤い部分は頻度が高いので手を洗う際は、洗い残しのないように気をつけて、石けんをよく泡立てて30秒以上時間をかけて洗いましょう。

濡れた手には汚れが付きやすいので、手を 洗ったらペーパータオルか清潔なハンカチ、 エアータオルなどでよく乾燥させてください。

手指衛生の方法 【速乾性アルコール消毒剤】





病院のエントランス、各病室前に 速乾性アルコール消毒剤を設置しています。 来院時、病室への入退室時に使用してください。 次に、速乾性アルコール消毒剤での手洗いについてです。

当院では、医療従事者だけでなく、面会の 方や入院中の方にも使用していただけるよう に、病院のエントランス、各病室前などに速 乾性アルコール消毒剤を設置しています。

病院へいらした際やお帰りの際、病室への 出入りの際に、ご自分のため、入院中の患者 さんのためにご使用ください。



咳エチケットについて説明します。

咳エチケットとは「症状のある人は、マスクを正しく着用し、感染防止に努める」といったものです。

病気の有無に関わらず、咳、鼻水、痰が増えた、などの症状があるすべての人が行うべき感染対策となります。

なお、マスクは防災センター入口の自動販売機で2枚100円にて販売しております。マスクを着用する際は、正しく着用するよう、気をつけてください。

また、マスクを着けていない時に、咳やくしゃみが出る時、出そうな時はティッシュで口と鼻を覆い、その後よく手洗いをしてください。

感染対策のためのご質問を お受けしております



当院の感染対策について何か疑問・質問がございましたら、 主治医や担当看護師などにお声がけください。 以上で当院における感染対策の説明を終わります。

当院の感染対策について何か疑問やご質問がございましたら、主治医や担当看護師までお声掛けください。